

# 変額保険

## グローバルミックス

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

### 2012年度 (2012年4月～2013年3月) 特別勘定の現況

#### 決算のお知らせ

#### ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

#### アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

#### 特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM & 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募	
債券 50%			

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。  
特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額保険 特別勘定の現況

(2012年4月～2013年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

## 運用環境 [ 2012年4月～2013年3月 ]

### 【日本株式市場】

日本株式市場は、大きく上昇しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比21.11%上昇の1,034.71ポイント(前期末は854.35ポイント)で終了しました。欧州債務問題の懸念などから下落して始まり、6月にはギリシャの再選挙結果などを受け上昇に転じましたが、揉みあう展開が続きました。11月以降は、衆議院選挙後の新政権による大型景気対策や日銀への金融緩和と圧力などから反転し、大幅に上昇しました。1月以降は、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから揉み合う局面もありましたが、政府の大規模な緊急経済対策や円安の進行、日銀正副総裁人事の同意などを受け金融緩和期待が高まったことなどから上昇して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、新政権のデフレ脱却策への期待から「不動産業」(前期末比+73.42%)が最も上昇した一方、大型増資やボーイング787の運航停止等が嫌気された「空運業」(同 25.38%)が最も下落しました。

### 【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+10.34%上昇の14,578.54ドル(前期末は13,212.04ドル)で終了しました。欧州債務問題の懸念などにより下落した後、9月頃までは追加金融緩和の期待やFOMC(米連邦公開市場委員会)の量的緩和策の決定などから上昇基調で推移しました。11月中旬頃までは、IMF(国際通貨基金)の世界経済見通しの下方修正などにより下落基調で推移しましたが、1月には「財政の崖」問題が回避されたことなどにより上昇し、その後も良好な経済指標などから上昇基調で推移しました。欧州株式市場は、上昇しました。欧州債務問題を巡る進退や良好な経済指標などを背景に、概ね米国株式市場と同様の動きとなりました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+11.15%上昇、仏CAC40は同+8.98%上昇、独DAXは同+12.21%上昇となりました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、大幅に金利が低下しました。新発10年国債利回りは0.56%となりました(前期末は0.99%)。8月に国内消費税増税法案を巡る政局の混乱などから金利は上昇(価格は下落)する局面もありましたが、欧州債務問題などによる世界的なリスク回避姿勢などから金利は低下基調(価格は上昇)で推移しました。12月中旬以降は、大規模な財政出動による国債増発懸念などから金利は上昇に転じましたが、1月以降は金融緩和期待の高まりや、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから、金利は大幅に低下しました。日銀は、政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0.0%～0.1%程度で推移するよう金融市場調整を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

### 【外国債券市場】

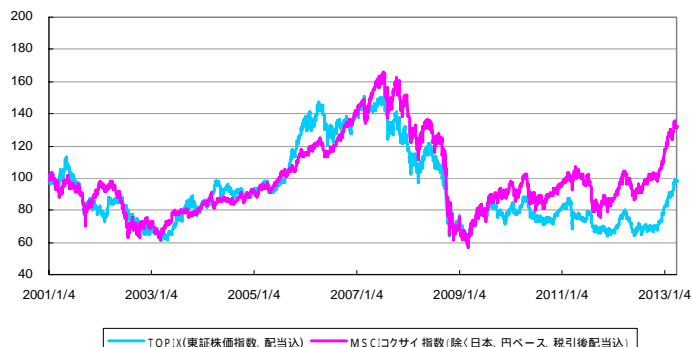
米国債券市場は、金利が低下しました。米10年国債利回りは1.85%となりました(前期末は2.21%)。7月にかけて欧州債務問題への懸念などから金利は低下基調(価格は上昇)で推移した後、良好な経済指標などから金利は上昇(価格は下落)する一方、追加金融緩和と観測などから金利は低下するなど、今期後半は揉み合いながらも上昇基調で推移しました。欧州債券市場は、金利が低下しました。独10年国債利回りは1.29%となりました(前期末は1.79%)。欧州債務問題を巡るECB(欧州中央銀行)やユーロ圏各国当局の政策対応などから、今期を通して金利は揉み合いながら推移しました。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00%～0.25%を維持しました。ECBは7月に政策金利を0.25%引き下げ、年0.75%としました。

### 【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移した後、今期後半にかけ円安が加速しました。米ドル/円相場は、前期末比11円86銭(14.43%)円安ドル高の1ドル=94円05銭となりました。今期前半は、欧州債務問題への懸念などから円高基調で推移しました。今期後半は、「財政の崖」問題が回避されたことや、衆議院選挙後の新政権のもとで日銀に対する金融緩和と圧力が一段と高まるなどの思惑、加えて日銀総裁の早期辞任により金融緩和が前倒しで実施されるとの観測などから円安が加速しました。ユーロ/円相場は、前期末比10円93銭(9.95%)円安ユーロ高の1ユーロ=120円73銭となりました。今期前半は、ECBによる政策対応への期待などから円安が進行する局面もありましたが、欧州債務問題への懸念などから円高基調で推移しました。今期後半は、キプロス救済を巡るユーロ圏の混乱などから円高となる局面もありましたが、ギリシャ支援協議の合意や日銀に対する金融緩和と圧力が高まるなどの思惑などから円安が加速しました。

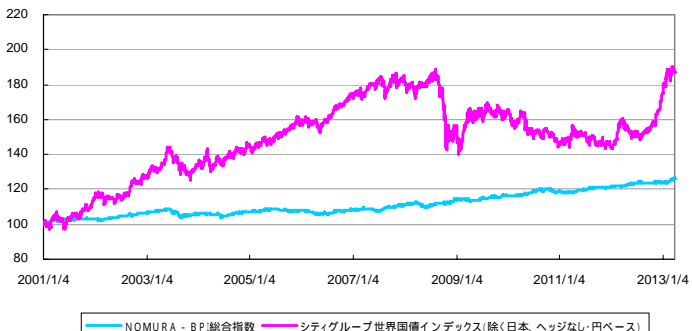
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

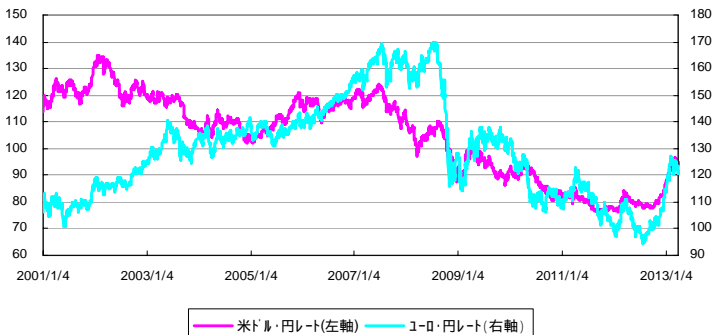


### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



### 外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

## 変額保険

### 特別勘定の現況

(2012年4月～2013年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の運用状況 [2013年3月 末日現在]

#### 特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2013年3月末	2012年12月末	2012年9月末	2012年6月末	2012年3月末	
INDEX	0.985	0.911	0.869	0.857	0.889	
騰落率 (%)	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	2.65	8.18	13.35	10.84	12.67	1.46

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

#### 特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	1,321,761	3.5
その他有価証券	36,915,324	96.5
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	3,804,627	10.0
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュウ株式ファンド(B)	5,725,456	15.0
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	5,774,766	15.1
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	3,743,776	9.8
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	17,866,697	46.7
合計	38,237,086	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	372,135
有価証券売却益	-
有価証券評価益	3,553,027
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	-
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	112,612
収支差計	3,812,550

#### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。資産配分の25%程度を占める日本株式をはじめ、全ての資産がプラスに寄与しました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%程度、欧米株式25%程度の資産配分といたしました。)今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

#### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険 特別勘定の現況

(2012年4月～2013年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

[ 2013年3月 末日現在 ]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主として  
アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	4.30%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.89%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.64%
4 本田技研工業	輸送用機器	2.51%
5 日本電信電話	情報・通信業	1.84%
6 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.54%
7 キヤノン	電気機器	1.41%
8 ソフトバンク	情報・通信業	1.20%
9 武田薬品工業	医薬品	1.17%
10 三菱商事	卸売業	1.16%
合計		21.64%
組入銘柄数		245銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	6.70%	20.89%	44.03%	23.83%	11.51%	11.29%
BM	6.05%	20.34%	40.31%	21.11%	5.71%	30.21%
差	0.65%	0.55%	3.72%	2.72%	5.80%	18.92%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。

ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

## アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募

[ 2013年3月 末日現在 ]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主として  
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.85%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.83%
3 本田技研工業	輸送用機器	3.13%
4 日本電信電話	情報・通信業	3.13%
5 KDDI	情報・通信業	2.97%
6 キヤノン	電気機器	2.90%
7 大塚ホールディングス	医薬品	2.73%
8 エス・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	2.72%
9 日産自動車	輸送用機器	2.69%
10 東海旅客鉄道	陸運業	2.55%
合計		31.51%
組入銘柄数		112銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	7.47%	22.92%	44.25%	23.05%	11.83%	4.16%
BM	6.05%	20.34%	40.31%	21.11%	5.71%	19.75%
差	1.42%	2.57%	3.93%	1.94%	6.12%	23.91%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。

ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1)</sup>です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～6ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



## 変額保険

### 特別勘定の現況

(2012年4月～2013年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

#### アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

[2013年3月 末日現在]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主として  
 アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	PFIZER INC	アメリカ	医薬品/バイオテクノ/ライフ	2.67%
2	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	2.27%
3	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	2.26%
4	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ/ハードウェア	2.25%
5	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.21%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.59%
7	WAL-MART STORES INC	アメリカ	食品・生活必需品小売	1.57%
8	ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.53%
9	HOME DEPOT INC	アメリカ	小売	1.32%
10	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品/バイオテクノ/ライフ	1.29%
合計				18.95%
組入銘柄数				218銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	4.11%	13.11%	11.35%	15.17%	40.60%	39.85%
BM	3.49%	10.58%	8.27%	11.45%	32.28%	15.13%
差	0.62%	2.53%	3.09%	3.72%	8.31%	24.72%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数<sup>2</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

#### アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

[2013年3月 末日現在]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募  
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主として  
 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	3.21%
2	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ/ライフ	2.60%
3	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.26%
4	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	2.10%
5	ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	スイス	医薬品・バイオテクノ/ライフ	1.72%
6	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ/ライフ	1.71%
7	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	オランダ	エネルギー	1.59%
8	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	1.46%
9	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ/ライフ	1.40%
10	BP PLC	イギリス	エネルギー	1.39%
合計				19.45%
組入銘柄数				188銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.49%	6.30%	11.22%	16.94%	14.50%	7.92%
BM	1.33%	5.41%	9.99%	11.85%	3.63%	14.37%
差	0.16%	0.89%	1.24%	5.08%	10.88%	22.29%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数<sup>3</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～6ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 変額保険

## 特別勘定の現況

(2012年4月～2013年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募

[ 2013年3月 末日現在 ]

#### 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募  
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

#### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主として  
アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

#### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.12%	0.60%	0.77%	1.77%	3.21%	15.78%
BM	0.03%	0.55%	0.67%	1.64%	4.37%	20.55%
差	0.09%	0.05%	0.10%	0.13%	1.16%	4.77%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合<sup>4</sup>、中期3年以上以上7年未満)です。

#### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第303回利付国債(10年)	日本	1.400%	2019年9月20日	Aa3	AA-	7.01%
2	第300回利付国債(10年)	日本	1.500%	2019年3月20日	Aa3	AA-	6.16%
3	第106回利付国債(5年)	日本	0.200%	2017年9月20日	Aa3	AA-	5.97%
4	第277回利付国債(10年)	日本	1.600%	2016年3月20日	Aa3	AA-	5.77%
5	第101回利付国債(5年)	日本	0.400%	2016年12月20日	Aa3	AA-	3.98%
6	第109回利付国債(5年)	日本	0.100%	2018年3月20日	Aa3	AA-	3.35%
7	第295回利付国債(10年)	日本	1.500%	2018年6月20日	Aa3	AA-	3.08%
8	第305回利付国債(10年)	日本	1.300%	2019年12月20日	Aa3	AA-	3.08%
9	第298回利付国債(10年)	日本	1.300%	2018年12月20日	Aa3	AA-	3.07%
10	第4回 日本政策投資銀行	日本	1.158%	2014年6月20日	Aa3	A+	2.91%
合計							44.39%
組入銘柄数							46銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

## 用語説明

- \*1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証が有しています。東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

## 注意事項

#### 変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとじて変動する生命保険です。  
\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

#### 変額保険のリスクについて

市場リスク  
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払戻し金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

#### 信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～6ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>